

抗 Rad51 抗体、ニワトリ血清

70-003 100 μ l

ヒトの Rad51 タンパク質は大腸菌の RecA タンパク質や酵母 Rad51 タンパク質の機能的及び構造的ホモログであって、相同的組換え及び組換え修復において中心的な役割を果たし、相同な DNA 鎖の交換反応を促進する機能をもっている。Rad51 のパラログとして、Dmc1, Rad51B, Rad51C, Rad51D, XRCC2, XRCC3 が知られておりこれらは Rad51 や Rad52 と複合体を形成して、組換え反応に関与している。更にヒト Rad51 タンパク質は乳ガン原因タンパク質 BRACA1, BRACA2 や癌抑制タンパク質として有名な P53 と結合する事が知られていて、ゲノムの情報の安定的維持に重要な役割を果たしている(1)。

本品は大腸菌で組換え体タンパク質として発現させて、高度に精製した全長のヒト Rad51 タンパク質を抗原としてニワトリを免疫した。この抗血清を用いて、ウェスタンブロッティング法で HeLa 細胞から 37kD の Rad51 タンパク質が単一のバンドとして検出された (図 1 では 40kD の位置)。

用途

- 1) ウェスタンブロッティング (2,000~7000 倍希釈) (図 1)
- 2) 免疫沈降
- 3) ChIP アッセイ
- 4) 間接免疫抗体法で Rad51 タンパク質の細胞内発現や染色体状の DNA 損傷部位への局在を調べることが出来る (2)。

性状：0.09%アジ化ナトリウムを含む血清

反応性：ヒトを含む哺乳類、ニワトリ

保存：4℃で輸送、小分けして-20℃で保存

データリンク UniProtKB/Swiss-Prot [Q06609](#) (RAD51_HUMAN)

文献

1. Friedberg EC *et al* *DNA Repair and Mutagenesis* 2nd ed., ASM Press (2006)
2. Tashiro S *et al* "Rad51 accumulation at sites of DNA damage and in postreplicative chromatin." *J Cell Biol* **150**: 283-291 (2000) PMID: [10908572](#)

*注意：本製品は研究用で、ヒトの診断用や治療に使用しないで下さい。

関連製品：

[10-001](#) Rad51 タンパク質 (ヒト)

[10-003](#) Rad52 タンパク質 (ヒト)

[70-001](#) 抗 Rad51 (ヒト) 抗体、ウサギ血清

[70-005](#) 抗 Rad51 (ヒト) 抗体、ニワトリ IgY

[70-007](#) 抗 Rad51 (ヒト) 抗体、Sepharose-conjugated IgY

[70-009](#) 抗 Rad51 (ヒト) 抗体、抗原 affinity-purified IgY

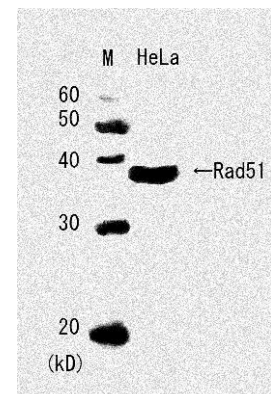


図 1 抗 Rad51 抗血清を用いたウェスタンブロッティング法による HeLa 細胞中の Rad51 タンパク質の検出

レーン M：分子量マーカー

レーン 1：HeLa 細胞抽出液 (矢印は Rad51 の位置)